

令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果 国立大学法人鹿屋体育大学

1 全体評価

鹿屋体育大学は、全国でただ一つの国立の体育大学という特性を十分に生かし、健全な身体と調和・共生の精神を併せ持つ人材の育成に必要なスポーツ・身体運動を通じて、創造性とバイタリティに富む有為の人材を輩出するとともに、体育・スポーツ学分野における学術・文化の発展と国民の健康増進に貢献し、もって健全で明るく活力に満ちた社会の形成に寄与することを目指している。第3期中期目標期間においては、国際社会で活躍できる有為な人材を養成するとともに、東京オリンピック・パラリンピック大会での活躍を目指す学生をはじめ、国内のトップアスリートの競技力向上につながる科学的サポートを実施すること等を基本的な目標としている。

この目標の達成に向け、学長のリーダーシップの下、社会課題である子供の体力低下の解決を目指して実施してきた研究の成果を社会に還元するため、子供の体力改善に寄与する「Exseedプロジェクト」の推進を行うなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画に取り組んでいることが認められる。

（「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の取組状況について）

第3期中期目標期間における「戦略性が高く意欲的な目標・計画」について、令和2年度は主に以下の取組を実施し、法人の機能強化に向けて積極的に取り組んでいる。

- スポーツパフォーマンス研究センターを活用して実施された、大学男子テニス選手の得点とラリー数の関係に関する研究、及び大学女子バレーボール選手のブロック時の運動力学的な左右差に関する研究が、国際学会International Sports Medicine & Sports Science Conference 2020（Virtual edition）において、それぞれBESTEPOSTER AWARDを受賞している。（ユニット「スポーツ指導の質の向上及び国際競技力向上を目的としたスポーツパフォーマンス研究の推進」に関する取組）

2 項目別評価

<評価結果の概況>

	特 筆	一定の 注目事項	順 調	おおむね 順調	遅れ	重大な 改善事項
(1) 業務運営の改善及び効率化			○			
(2) 財務内容の改善			○			
(3) 自己点検・評価及び情報提供			○			
(4) その他業務運営			○			

I. 業務運営・財務内容等の状況

(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

①組織運営の改善 ②教育研究組織の見直し ③事務等の効率化・合理化

【評定】中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載12事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(2) 財務内容の改善に関する目標

①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加 ②経費の抑制 ③資産の運用管理の改善

【評定】中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載4事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

①評価の充実 ②情報公開や情報発信等の推進

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載3事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

令和2年度の実績のうち、下記の事項について**注目**される。

○ 情報発信の強化

広報活動の更なる活性化を目的として、教職員の広報に関する情報交換会「NAP Meeting」を開催し、役職や世代の垣根を超えた情報交換が行われている。本Meetingでのアイデアを元として、これまでの広報とは違う視聴者に届くことを期待し、大学のPR動画の企画・制作を行う学生広報スタッフを募集し、動画の制作を行っている。また、課外活動団体による重点強化指定選手・チームの動画をウェブサイト等で公開するなどターゲットを若者に絞った情報発信を強化している。

(4) その他業務運営に関する重要目標

①施設設備の整備・活用等 ②安全管理 ③法令遵守等

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載12事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

Ⅱ. 教育研究等の質の向上の状況

令和2年度の実績のうち、下記の事項について**注目**される。

○ 子供の体力を改善するプロジェクトの推進

子供の体力低下という社会的課題の解決を目指して実施してきた研究成果を社会に還元するため、株式会社鹿児島放送との共同プロジェクトとして、「Exseedプロジェクト」を始動している。本プロジェクトでは、走る・跳ぶなどの運動の基礎となる動作を盛り込んだ5分間の運動プログラムを開発し、動画アプリ等による普及活動を実施している。